

アネスト岩田株式会社
統合報告書

2026

100を超える、ワクワクを。



100th Anniversary

Active with Newest Technology

アネスト岩田フィロソフィ

アネスト岩田は、
人と人の生活に役立つ企業であり続けるとともに、
創業以来の社是である「誠心(まことのこころ)」を
ひたむきに守り続け、
今後も最高の品質・技術・サービスをお届けします。



■社是

誠心

(まことのこころ)

当社は、創業者である岩田初太郎が心の糧としてきた「誠心を以って何事にもあ
たれ」という思いの下、創業以来、社是として「誠心」を掲げて常に努力してきました。

創業メンバーであり2代目社長でもある岩田助蔵は、社長就任時に「(当社の成長は)
実に誠心誠意の協力一致によるものである。思うにこれらのことは、当社が何を作っ
ても使う人の身になって真に役立つもの、誠意あるものをつくろうと努めたからであ
ると思います」と述べています。

■ブランドポリシー:コーポレートスローガン

Active with Newest Technology

「役に立つ技術、愛される商品、信頼される絆」という
イワタイズムの原点を表現しています。

「アネスト(ANEST)」に込めた思い

「真摯(EARNEST)であれ、正直(HONEST)であれ」と「企業である前に人であれ」と
の創業者・岩田初太郎の^{おし}訓えから、社是である創業の精神「誠心」を「ANEST」という文
字に込めました。

ビジネスをはじめ社会全体が急激に変化する時代にあっても、創業の精神を継承し、ス
テークホルダーや社会にとって有益な企業でありたいと願っています。

INTRODUCTION	価値創造戦略	価値創造を支える基盤	データ
03 数字で見るアネスト岩田	20 長期成長戦略-Vision2035 実現に向けたマスタープラン	40 サステナビリティ	71 非財務ハイライト
04 中長期成長イメージ	23 資本・財務方針	41 環境	73 11年間の連結財務サマリー
05 成長の歴史	26 事業戦略	43 環境 気候変動への対応	74 グローバルネットワーク
07 暮らしの中のアネスト岩田	27 エアエナジー事業	47 社会 人的資本	75 株式の状況
	29 コーティング事業	53 社会 人権の尊重	76 会社概要
	31 開発戦略	54 社会 サプライチェーンマネジメント	
	33 知的財産による事業競争力の維持と強化	56 社会 社会貢献	
	36 生産・ロジスティクス戦略	57 社会 ステークホルダー・エンゲージメント	
	38 品質保証	58 ガバナンス 社外取締役メッセージ	
		59 ガバナンス 役員紹介	
		61 ガバナンス コーポレート・ガバナンス	
		68 ガバナンス コンプライアンス、リスク管理	
価値創造ストーリー			
09 CEOメッセージ			
13 価値創造プロセス			
14 価値創造の源泉			
15 マテリアリティ			
17 特集 : 部長座談会			

編集方針

アネスト岩田では、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様当社グループをより深くご理解いただくことを目的として、「統合報告書」を発行しています。当社はESGやSDGsといった観点を含むサステナビリティを経営上の重要なテーマとして定め、事業成長による利益創出と社会課題の解決を両立させる活動

を推進しています。その中で特にお伝えしたいことを中心に、当社グループのビジネスモデルや経営戦略、業務報告、人材への取り組みなどを含むESG情報などにより構成しています。編集にあたっては、IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイダンス」を参照しています。

対象期間：原則として2025年度(2025年4月から2026年3月)を対象期間としていますが、当該期間以前もしくは以後の活動も報告内容に含みます。

対象範囲：アネスト岩田株式会社及び当社連結子会社
発行時期：2026年9月

将来見通しに関する記述及びその他の注意事項

本報告書で述べている当社の将来に関する記載は、現時点で知りうる情報を基に作成したものです。
世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。
また、本報告書は投資家の皆様などへの情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘または推奨するものではありません。

統合報告書の見どころ

Vision2035の実現に向けて、当社グループが描く長期成長戦略と、その実現に向けた考え方をお伝えします。
CEOメッセージでは長期成長への思いと道筋を、部長座談会では現場を率いるリーダーたちの率直な議論を掲載するほか、事業戦略から研究開発、生産・ロジスティクス、資本政策・新規事業・M&Aまで、成長を支える取り組みをご紹介します。さらに、社外取締役メッセージや新設したコーポレートガバナンス部長メッセージなどから、企業価値向上に向けた課題と展望に迫ります。

数字で見るアネスト岩田

当社グループは、1926年の創業以来培ってきた、空気を主とした気体の圧縮技術と塗料を主とした液体の霧化技術を基盤に、圧縮機・塗装機器を主力製品として事業を拡大してきました。長年にわたり蓄積された製造ノウハウとコア技術を用いた製品群は、当社の競争優位性であり、持続的な収益基盤を確立しています。

事業の現状

エアエナジー事業

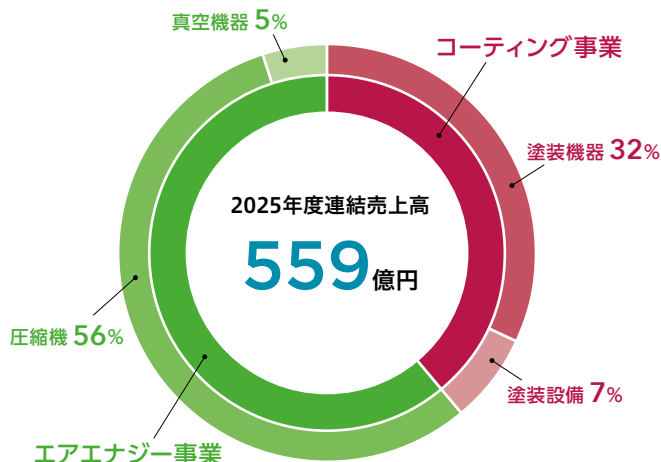
圧縮機

空気などの気体を圧縮する圧縮機(コンプレッサ)を製造・販売



真空機器

気体を吸引して減圧し、真空状態を作る真空機器を製造・販売



コーティング事業

塗装機器

液体を霧にして吹き付けるスプレーガンやエアブラシのほか、塗料を機器まで搬送する供給機器などを製造・販売



塗装設備

お客様のご要望に合わせた塗装ラインを設計・販売



主な業績(2025年度)

連結売上高

559億円
(前年531億円)

ROE

11.0%
(前年9.4%)

自己資本比率

68.0%
(前年67.7%)

連結営業利益率

10.0%
(前年10.8%)

海外売上比率

65.3%
(前年66.3%)

EPS

136.0円
(前年108.2円)

シェア※

ハンドスプレーガン(高級レンジ)

日本 **75%以上** 欧米 **30~35%**

エアブラシ

世界 **30%**

小形圧縮機

日本 **25~30%**

真空ポンプ(設計排気速度600L/min未満 オイルフリー)

日本 **40%**

※当社調べ

会社基本データ

創業:**1926**年

グループ従業員:**1,897**名(うち、海外:1,215名)※1

事業展開:**20**か国以上**34**社※2※3

独立社外取締役比率:**55.6%**※2

※1 2025年度末時点

※2 発行日現在

※3 連結子会社32社、持分法適用会社2社

中長期成長イメージ

次の100年を見据えた変革と挑戦 —「圧縮」から「放出」へ—

1926年の創業から約100年、アネスト岩田は空気圧縮機と塗装機器の技術革新を追求し続けてきました。2026年、私たちは創業100周年という大きな節目を迎えました。

この歴史的な転換点を、単なる祝賀の機会としてではなく、「第二創業期」として位置付け、次の100年に向けた大胆な変革へと踏み出しています。

長きにわたり培ってきた技術と知見を「圧縮」し、新たな価値として「放出」することで、変革の風を巻き起こし、未来を塗り替えていきます。

社是である「誠心」を原点に、すべてのステークホルダーの皆様と真摯に向き合い、持続可能な社会の実現に貢献する——それがアネスト岩田グループの約束です。

Vision2035 実現までの道筋

新経営体制(参照:P11)の下、2035年度に売上高 1,000億円企業へ成長することを目指し、「既存事業の深化」「グローバル拡張」に加え、「新領域の創造」という軸を設定し、立体的な成長を実現していきます。

加えて、提供価値を「機器の販売」から、ステークホルダーのエネルギー最適化に向けた「ソリューションの提供」へシフトさせ、社会全体の価値創造を支える「エネルギーソリューションメーカー」へと進化します。

これまで

2軸による平面的な成長

- ① “既存事業の深化”
(プロダクト力×顧客基盤強化)
- ② “グローバル拡張”
(地域拡張×現地最適)



第二創業期

2軸に加え、③“新領域の創造”を起爆剤とした立体的成長の実現

- ・新技術を獲得しながら新市場を攻略し、非連続的な成長を実現
- ・エアエナジー / コーティング事業の周辺領域を足掛かりに、M&A等を駆使し新規事業を確立

創業
100
周年

③新領域の創造

第一次
中期経営計画
売上高
620億円
ROE11%

第二次
中期経営計画

液体と気体で
世界を彩り、社会を豊かに

Vision2030

第三次
中期経営計画

Vision2035

エネルギー
ソリューション
メーカーの実現
売上高
1,000億円
の実現

2022～2024年度

2025～2027年度

2028～2030年度

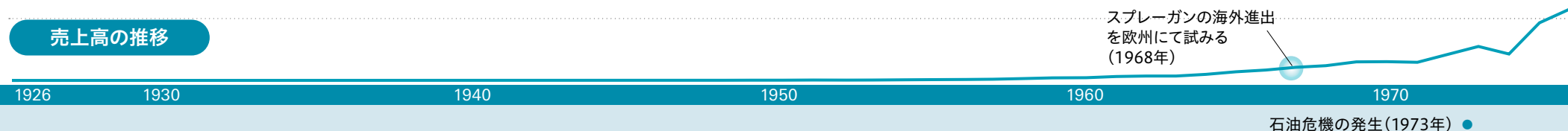
2031～2033年度

成長の歴史

当社は1926年の創業以来、時代や市場環境の変化を成長の機会と捉え、技術革新と事業変革を繰り返しながら企業価値を高めてきました。

1927年には国産第1号となるスプレーガン、そして翌1928年には、その駆動源となる圧縮機を開発し、これらの製品と共に発展を続けてきました。スプレーガンや圧縮機を核とした技術を磨くだけでなく、海外展開や事業ポートフォリオの強化など、各時代の経営判断を着実に実行することで競争優位を築いてきました。100年の歩みは、単なる歴史ではなく、現在のグローバルな事業基盤と持続的な成長力を支える企業価値創造の軌跡です。

売上高の推移



1926-1947 創業・技術確立期

技術への挑戦が、現在に至るコア技術と競争力の礎を築く

- 1926 東京都渋谷区豊沢町（当時）で、当社の前身となる「岩田製作所」を創業
- 1927 輸入したスプレーガンを手本に国産第1号のスプレーガンの製造・販売を開始
- 1928 スプレーガンの検査用に圧縮機を自社開発。小形圧縮機の製造・販売を開始



創業者を含む岩田四兄弟



国産第1号スプレーガン

創業初期の圧縮機

1948-1985 国内成長・事業拡大期

市場拡大と製品ラインナップ強化により成長基盤を確立

- 1948 日本人に適した「S・B型スプレーガン」を発売し塗装業界の定評を得る
- 1957 「W-57型スプレーガン」を発売し、自動車塗装分野で支持を受ける
- 1962 塗装設備分野に本格参入
- 1969 国産初の空冷二段・中形圧縮機を開発
- 1971 東京証券取引所第一部に上場
- 1985 世界初の電動多関節塗装ロボットを開発



中形圧縮機「MCシリーズ」

1986-2009 グローバル展開期

世界市場や環境対応への挑戦が、新たな成長ステージを切り拓く

- 1987 台湾を皮切りに塗装機器の製造・販売拠点の海外進出を本格化
- 1991 世界で最も厳しいと定評のあった米国カリフォルニア州のVOC排出規制値をクリアする低圧スプレーガンを開発
- 1991 世界初のオイルフリースクロール圧縮機を開発
- 1993 世界初のオイルフリースクロール真空ポンプを開発し、真空機器分野に進出



オイルフリースクロール圧縮機本体



オイルフリースクロール真空ポンプ

コーティング事業

塗装機器

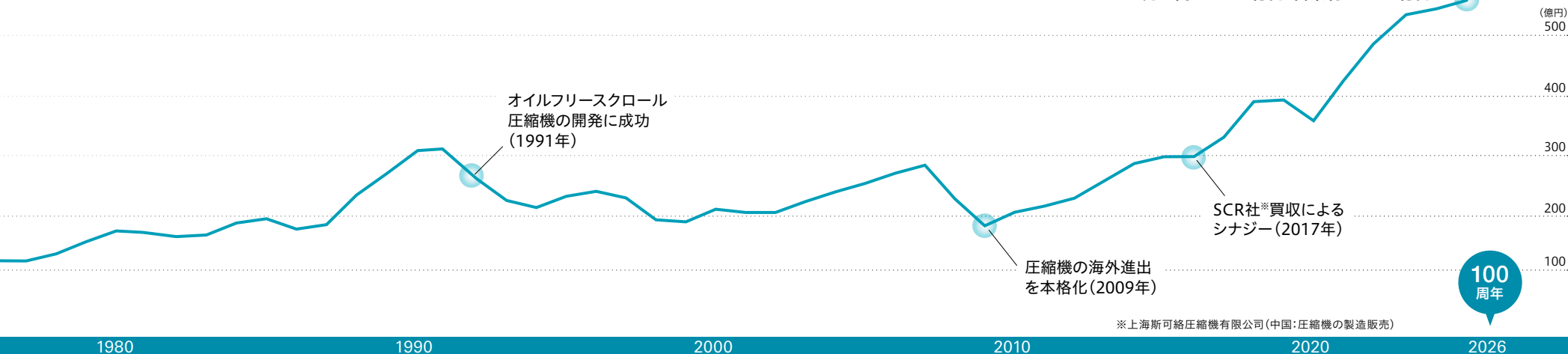
塗装設備

エアエナジー事業

2025年度

売上高 **559** 億円 営業利益 **55** 億円

(億円)



1980

1990

2000

2010

2020

2026

●バブル崩壊
(1991-93年)

●消費税引き上げ(1997年)

●リーマンショックの発生
(2008年)●新型コロナウイルス感染症の
流行(2019年)

2010-2024 企業価値向上期

成長を支える基盤の強化

1996 社名を「アネスト岩田」に変更

1999 世界初のV溝付塗料ノズルの低圧スプレーガン LPH-400発売

2009 中国を中心とした圧縮機の製造・販売拠点の海外進出を本格化



Vスリットノズル

2011 社外取締役を導入

2012 任意の指名委員会・報酬委員会を設置

2016 監査等委員会設置会社へ移行

2017 M&Aを通じた中形圧縮機分野やエアブラシ分野の事業拡大

2018 スプレーガンの主戦場である欧州における子会社及び関連会社を再編

2020 業績連動型株式報酬制度を導入

2022 東証第一部からプライム市場へ移行

SCR社製
中形圧縮機AI-SP社[※]製エアブラシ
※ANEST IWATA SPARMAX
Co.,Ltd.

2025- 第二創業期

100周年の先を見据え、次の成長ステージへ

2025 新規事業の一環として、モビリティアフターサービス事業に参入。日本に車体整備工場一号店をオープン

2026 全社変革における推進力の強化のため、CxO制及び地域統括制の導入

2026 創業100周年。長期成長戦略を発表

圧縮機

真空機器

暮らしの中のアネスト岩田

アネスト岩田グループは、気体と液体を扱う技術を通じて、社会のさまざまな場面を支えています。

研究施設

クリーンで静かな研究環境をつくる

- ・加速器・放射光施設

真空機器

- ・分析装置への窒素ガス供給
- ・検査機器へのクリーンエア供給

圧縮機

病院

清浄な圧縮空気を安定供給

- ・病室へのガス供給
- ・歯科技工器具の駆動

圧縮機

工場

製造工程の安定と品質を支える

- ・気体の注入（袋詰めなどにおける窒素ガス封入）
- ・気体の吸引（真空包装や脱泡）
- ・空圧機器を動かす
- ・吸着搬送
- ・切粉などを吹き飛ばす（エアブロー）
- ・漏れ検査

圧縮機

真空機器

圧縮機

電車・バス

安全で確実な動作を支える

- ・自動ドアの開閉
- ・ブレーキシステム
- ・バスの車体傾斜制御

圧縮機

エアエナジー事業

空気圧縮機（コンプレッサ）

空気を取り込み、圧力を高めて送り出す機械です。圧縮された空気は、元の体積に戻ろうとする力を持っており、これを利用して機械や工具を動かすことができます。工場での加工や搬送のほか、車両への搭載や病院施設での利用など、多岐にわたる分野で活躍しています。



オイルフリー
スクロール圧縮機

真空ポンプ

密閉された空間から気体を吸い出し、内部の圧力を下げて真空状態をつくる機械です。気体の除去や乾燥、脱泡などの工程に使用されます。また、空気や水分などの影響を抑えた環境をつくれるため、一般産業をはじめ半導体・液晶などの精密製造や化学・分析分野など、幅広い分野で利用されています。



オイルフリー
スクロール真空ポンプ



コーティング事業

スプレーガン

塗料やその他の液体を圧縮空気の力で微細な霧状にし、対象物へ均一かつ効率的に塗布する機器です。自動車や家具などの美観を向上させるための塗装だけでなく、表面保護コーティング、液剤の散布など、その用途は多岐にわたります。



自動車補修塗装
市場向けスプレーガン

塗装設備・塗装ロボット

スプレーガンを搭載し、プログラムに沿って自動で塗装を行う設備です。素早く広範囲に、均一で高品質な塗膜を提供し、生産性の向上や品質の安定化に貢献する塗装設備を提案・設計します。



CUBIC LINE